

2/9 荒尾を思い、地域を語るひととき ～清里地区で「市長と“まちづくり談義”」～



▶おおよそ30人の参加があり、熱心な意見交換が行われました。

市長が地域の皆さんと直接語り合い、市政への意見や提言をいただく「市長と“まちづくり談義”」を清里地区の水島公民館で開催しました。

市長から荒尾市の現況の説明が行われた後、万田坑の世界遺産登録に向けた質問やラムサール条約、農業振興についてなど地域に密着した質問や要望が寄せられ、これからのまちづくりに向けた有意義なひとときになりました。

なお、この催しは次回から名称を「市長とまちづくりトーク」に変更して行います。

2/11 子どもの健康を祈って ～にしばるさん～

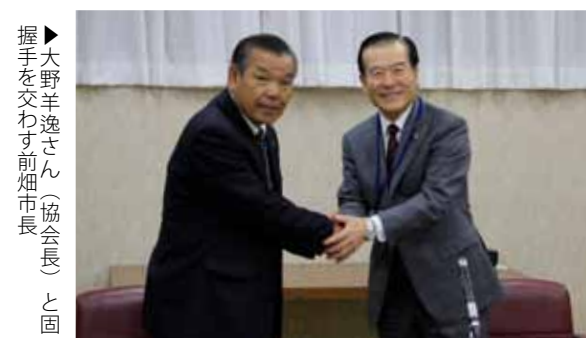


▶祝日ということもあって多くの人が訪れました。

にしばるさん（西原大神宮例祭）が西原大神宮で行われました。毎年2月11日と9月11日に催されるにしばるさんは1533年（天文2年）から、五穀豊穡の神様、子どものすじ、ひきつけの神様として知られています。また、馬ではなく御神鳥である鶏の絵馬に子どもの名前と生年月日を書いて奉納するのも特徴です。

同日は赤ちゃんのお宮参りや、子どもの健康祈願など、小さい子ども連れの参拝客でにぎわいました。

2/22 災害時の廃棄物処理を迅速に ～災害時廃棄物処理協定～



▶大野羊逸さん（協会長）と握手を交わす前畑市長

社団法人熊本県産業廃棄物協会と災害時における廃棄物の処理などの支援活動に関する協定を結びました。

昨年3月11日の東日本大震災のような大規模な災害が起きた場合、莫大な廃棄物が発生し処理に多大な時間と手間を要します。その処理を円滑に行うためには多方面からの支援、協力が必要です。そのために同協会との協定締結を生かし、万が一災害が起きた場合は迅速かつ適正に廃棄物の処理を行っていきます。

2/26 元気な荒尾市民が集結 ～元気づくり交流会～



▶交流を深めながら、ゴルフを楽しむ参加者。グラウンドゴルフ

荒尾市が推進している地域元気づくり事業の12団体が参加した、第7回元気づくり交流会が陸上競技場で開催されました。

交流会ではグラウンドゴルフが行われ、22チーム110人の参加があり、11ホール2ラウンドで競われました。集計時間にはビート・コア・ウォーキングの講習会も実施され、参加者の皆さんは他地区との交流を深めました。

結果は平井Aが優勝、2位は清里A、3位はよかまち中央会選抜でした。

2/15 世界に誇る宮崎兄弟の偉業 ～シンガポール孫文記念館来荒～



▶宮崎兄弟の生家にある友情の梅の木の前で記念撮影。

シンガポール孫文記念館の館長をはじめ4人の関係者が、宮崎兄弟の生家を視察しました。

中国革命の父・孫文を顕彰する記念館は、中国・台湾をはじめ、世界各地に点在しており、シンガポールには、孫文を支援した郷土の偉人・宮崎滔天も訪れた足跡があることから、皆さん熱心に見学していました。

今年11月にはシンガポールで世界各地の孫文記念館が一堂に会する会議が開催されます。荒尾市にも熱烈な招待をいただきました。

2/19 地域のつながりと健康をUP ～万田山ハイキング～



▶山頂での記念写真。思い出の一枚が撮れました。

万田山いきいき町づくり会が万田山ハイキングを開催しました。同日は晴天に恵まれ、地区外からの参加者も多く、約70人が参加しました。

約1時間のハイキングで参加者は会話を弾ませながら山頂を目指しました。到着した後は、眺望のよい場所で持参した弁当を食べ、全員で記念撮影をしました。

年々、参道が整備され登りやすくなっていることもあり、「次回も参加したい」といった声が多く上がっていました。

2/28 希望を未来に繋ぐ“子どものまち”プロジェクト ～ラグビー普及促進事業～



▶小学校の先生の前で、タグラグビーの指導を実演する徳井監督。

学校で身近にラグビーボールに触れてもらおうと、プロジェクト部会長の末安英介さんから各小学校にボールが配られました。

また、荒尾高校ラグビー部を5度の全国大会に導いた徳井清明監督の指導のもと、タグラグビー実技指導研修会が体育センターで行われました。小学校の先生を対象としたこの事業は、小学生への指導方法を学んでもらおうと開かれました。先生たちは真剣な表情でメモを取りながらタグラグビーの指導方法を学びました。

2/29 未来の荒尾を担うリーダーに ～市民活動リーダー養成講座～



▶ワークショップ形式で活発な意見交換が行われました。

あらおシティモール志働塾で、特定非営利活動法人まちづくりあら'モの前田優一さんを講師に、市民活動リーダー養成講座を開催しました。

講座では、自己紹介やゲームを通して参加者の緊張をほぐしながら、荒尾市の課題を考えることで、地域のリーダーとして地域課題を知り、解決へ向かうために必要な事を学びました。

参加者は「いろいろな人と意見を交わし、自分なりにできるところから始めていきたい」と今後の市民活動への抱負を語りました。